



第3回ディスクロージャーサミット

『都市経営とディスクロージャー』

地方自治体が、社会経済構造の変化に的確に対応して、住民の暮らしを守り、地域経済や文化の発展を支えていくためには、自らの権限と財源の最適な行使によって都市経営を行い、住民への責任を担っていく必要がある。そして、責任ある地域経営を実践する前提としては、組織自身が財務情報を正確に把握し、その実情を「可視化」させ住民に開示することが不可欠である。第3回ディスクロージャーサミットでは、公会計制度の改革を通じて財務情報のディスクロージャーとマネジメントの強化に取り組んでいる大阪市に報告をお願いしました。

2019年1月12日(土)
13:00~17:00

関西大学千里山キャンパス
尚文館1階マルチメディアAV大教室

入場無料・申込不要

ACCESS



阪急千里線にて関大前駅で下車

お問い合わせ先

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL: 06-6368-1179 FAX: 06-6339-7721
E-mail: keiseiken@ml.kandai.jp

Program

13:00~13:10

開会挨拶、趣旨説明「ディスクロージャーサミットの意義」

柴 健次 (財政の健全化と公会計改革研究班 主幹・
会計専門職大学院教授)

13:10~14:00

●基調講演

堀 秀司

(大阪市会計管理者兼会計室長)

「大阪市政の改革における公会計的視点の導入経緯について」

14:20~15:10

●実務報告

竹田 功

(大阪市会計室新公会計制度担当課長)

「大阪市における公会計制度改革の取組について」

15:10~15:30 休憩

15:30~15:50

●コメント

中川 美雪 (公認会計士)

15:50~16:50

●討論

「都市経営とディスクロージャー」

司会: 柴 健次

パネリスト: 堀秀司、竹田功、中川美雪、
馬場英朗(財政の健全化と公会計改革研究班・商学部教授)

16:50~17:00 閉会挨拶

林 宏昭 (財政の健全化と公会計改革研究班・経済学部教授)